

備前市過疎地域自立促進計画（案）に対する意見募集の公表について

備前市過疎地域自立促進計画（案）に対して、市民の皆様からご意見を募集した結果について、ご意見の要旨と市の考え方は下記のとおりです。

ご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。

意見募集期間 平成 22 年 8 月 16 日（月）～9 月 15 日（水）

意見募集結果 5 件（1 名）

意見等の要旨	市の考え方
買い物客用の駐車場整備について、マイカー所有者は郊外や市外の量販店で買い物ができるため、駐車場整備の利点が見受けられない。それよりも交通弱者の住民が買い物に困らない助け合いのまちの醸成を行ってほしい。	駐車場整備は、違法駐車防止や市外への消費の流出を食い止める一助となるだけでなく、地元商業の保護・育成にもつながるものです。また、人の往来が増えれば、それだけにぎわいの創出にもなり、地域の活性化の観点からも有意義と考えています。
諸島地区の観光客用駐車場の整備について、観光客等が自由にマイカーで乗り入れることが前提となるのであれば、地域住民と協議しながら必要の是非を検討してほしい。	本土との架橋後の諸島地区活用法については、市民の代表等（島民を含む）で構成された市道頭島線活用検討委員会で検討され、活用計画案の提案がありました。市では、この案の推進にあたり、市民と協議しながら事業の必要性を検討していきます。
歩道の新設要望について、歩道はドライバーの問題であり、新設する必要がないのでは。むしろ、センターラインを廃止し、路側帯の歩道側を広くすべきだ。	歩行者に安全な通行を行っていただくための対策として、歩道整備が必要であると考えています。国道 250 号は交通渋滞が著しく交通事故が多く発生しているため歩道を設置し交通の安全を図りたいと考えています。
バスの補助金について、補助はやむをえないが、地域として公共交通を考える場を作るべきだ。また、イベント時の渋滞解消を図るため、公共交通にシフトしなければならない。	本市では、備前市公共交通会議を設置し、地域の実情に応じた輸送サービスの実現を図るために必要な事項を協議しています。また、イベント開催時の公共交通の利用促進を図ります。
定住者の促進について、空家情報だけではどうにもならない。もっと施策を掘り下げなければだめである。	移住者の方々が円滑に地域に受け入れられることが、充実した移住生活を送るための大切なポイントであると考えています。そのため、町内会活動への参加を勧めるとともに、地域に溶け込むために必要な情報を事前に提供するなど、配慮していきたいと考えています。